



# 「高校生熟議」の取組 ～高校生が考えるネットやケータイ～



大阪私立羽衣学園高等学校 地歴公民・英語・情報 教諭  
米田 謙三

# 高校生「熟議」の教育的な目的

- 大阪私学教育情報化研究会  
「ICTプロジェクト」  
(International and Communication Technology Project)
- 『高校生の情報化と国際化に対応できるコミュニケーション能力育成に関する実証研究』
- 平成15年度から実施
- 実社会で活用できるプレゼンテーション能力の育成
  - コミュニケーション能力の開発
  - プレゼンテーションの総合的な技能の向上
- 平成23年度新たな取組として「熟議」の手法の導入
  - リアル熟議とネット熟議
  - 段階的に「考え、まとめる、話す、見せる、伝える」などの技術を練習
  - 関係省庁、教育関係者、事業者等のゲストによるレクチャー(キャリア教育的側面)
  - ケータイ・インターネットという身近なテーマ

# ケータイ、インターネットの啓発の課題

- 高校生の本音を知りたい
  - 法律もフィルタリングも大人が用意したもの
  - 当事者である高校生が、どう思っているのか？
- 高校生のフィルタリング利用率
  - 小学生76.5% 中学生69.6% 高校生49.7%(平成23年度青少年のインターネット利用環境実態調査)
- 保護される存在から自立した大人へ移行準備
  - 青少年インターネット環境整備法
  - 青少年健全育成条例 等
  - 被害者から加害者になる年齢に移行
  - 就学、就職を通して、社会人として責任の自覚の形成
- SNS等のコミュニケーションの実態
  - EMA認定サイト内の1日当たりの投稿数(152,567,739件)
  - EMA認定サイト内の1日当たりの削除投稿数(141,110件)
  - 青少年の投稿も含めて、削除に至る問題投稿はごく一部
- 高校生にとってのインターネットの存在意義
  - 情報メディアの変化
  - 書籍・新聞・雑誌(活字メディア)⇒ラジオ・テレビ(放送メディア)⇒インターネット(双方向メディア)
  - インターネット時代に生まれ・育った子どもたちのメディアとの距離感
- 高校生が大切にする人間関係とは？
  - 変化した社会環境の中での、高校生の友人関係、親子関係、家族関係を結ぶコミュニケーションの実態

# 高校生熟識(2011年度)

## ■リアル熟識開催日

- 第一回 2011年7月16日(土)13:30-17:00 熟識テーマ「ネットとケータイの問題点」
- 第二回 2011年8月27日(土)13:30-17:00 熟識テーマ「私たちにとってのケータイ、インターネットとは」
- 第三回 2011年11月3日(木)11:00-16:30 熟識テーマ「これからのネットとケータイを考える」

## ■開催場所

大阪ユビキタス協創広場 CANVAS(内田洋行大阪支店)

## ■ネット熟識開催期間

- 第一回 2011年7月17日(日)00:00~2011年8月21日(日)24:00  
熟識テーマ「ネットとケータイの問題点」
- 第二回 2011年8月28日(日)00:00~2011年9月25日(日)24:00  
熟識テーマ「高校生にとってのケータイ、インターネットとは」
- 第三回 2011年9月26日(日)00:00~2011年10月23日(日)24:00  
熟識テーマ「これからのネットとケータイを考える」

## ■最終報告会

2011年11月17日(木) 於:総務省・文部科学省

## ■開催サイト

文部科学省 政策創造エンジン 熟識カケアイ  
(<http://jukugi.mext.go.jp/>)

## ■主催・共催

大阪私学教育情報化研究会  
安心ネットづくり促進協議会  
一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構

## ■後援

文部科学省  
総務省 近畿総合通信局

### 【2011年度の主な報告内容】

- コミュニケーション、情報収集、情報共有、アミューズメント、学習等あらゆるシーンでネットを使っている
- ネットは既に社会的インフラであり、使うことを前提の生活様式。そのためネットを使う時間が長いことが、ネット依存とは言えない。
- 実社会のモラルの低下はネットのモラルの低下にもつながる
- 親や先生よりもネットの知識を持っているが、判断力は？
- 知識を得ることは重要だが、それを活用するための自己判断能力の教育も必要
- 実社会での出会いを一期一会からネットで継続的な関係に！
- 高校生がどうネットを使っているか、もっと理解してほしい
- 自分の持っている知識を周りに伝える。それは、友達だけでなく兄弟や周りの大人にも！！

# 最終報告会での質疑

## 【文部科学省・城井政務官】

- ネットの時間はある意味でリアルな生活時間を浸食してはいないだろうか。
- 匿名制と実名制の関係はどう考えるか。距離感や自由度にも関係があると思うが
- ネットに関するリテラシー教育はどの年代から、何を教えていけばいいと思うか。
- リアルのモラルとネットのモラルに関する提言は良く理解できる。
- ネット上の出会いの場は、再開の場ともなり得ると思う。
- 教育の充実について、より具体的に考えを教えて欲しい。
- ネット上の情報の真偽をどう判断すべきか？

## 【高校生の回答】

- ケータイの使い方などは、兄姉から教わることもある。そうした関係の中でも伝え合っていけばいいと思う。
- 軽微な問題は、多少、何度か失敗の経験も必要なことだと思う。
- 親子で教え会える関係ができることがいい。
- 情報の関係は進歩が早く教材などが追いつかないので、時代にあった対応をしてほしい。
- 匿名制と実名制は使い分けている。心の中を吐露できるものと表面的な表現に留めるものとの違いがある。
- 小学生のうちは、どんな言葉が相手にとって深いかなどについて教えてあげる必要があると思う。

## 【総務省】

- 情報に関する知識と判断力は異なるとのことだが、どうすれば判断力がつくと思うか。
- 大人にはどのように伝えていけばいいと思うか
- ネットで知り合った人と親近感がわいて、会おうとすることはあるか

## 【高校生】

- 情報モラルの試験の実施や、詐欺等を仮想体験できるサイトの利用
- 自分達の利用の状況を親に伝えること。失敗事例も隠さず親に伝えることで情報の共有化ができる。
- 逆にリアルで知り合った人と、一期一会にならないようにネットで交流をすることの方が多く、それにより知的な面や趣味の面でも継続的な人脈を拡げることができる。

## ネットやケータイ、家族で使うコツ

- ネットやケータイを怖がらない
  - 大人が分からないと言って話題を避けていませんか？
  - 逃げているだけでは、子どもの安全は守れません
- お金がかかることは勝手にやらない・やらせない
  - いずれ家族にバレてしまう
  - 払ったお金が次の犯罪に使われることも・・・
- いけないことはいけないとはっきりとしよう
  - ネットやケータイだから誰にもわからないわけではない
  - 犯罪や自殺の書き込みは捜査すればすぐに誰だか特定できる
- 気軽な気持ちが大きなトラブルに
- 困った時にはすぐに相談しよう
  - おなか痛くなったらどうする⇒先生や家族に言う⇒医者に行く
  - ネットのトラブル発生⇒先生や家族に相談⇒適切な窓口で対応
- 大人だってわからないこともある
  - 素直に子供に教えてもらおう
  - 家族の話題になる⇒会話が增える⇒共通の趣味ができる
- 家族の中で、普通にネットやケータイの話ができるようにしよう
  - ネットやケータイの話を家族のタブーにしない
  - 隠れてやる、内緒でやるはトラブルのもと
  - 堂々と話せないことはやらない
  - 見聞きしたトラブルを話題にすれば話し合っただけ勉強になる
- 大人も気をつけよう、ネットやケータイの使い方
  - 子供の見本になるように
  - 子どもとのルールを親が破っていませんか？ルールは双方で守るもの



# 高校生熟議(2012年度)

- 高校生熟議2012 熟議テーマ  
「スマートフォン時代の情報モラルと利活用」
- 各回熟議テーマ  
第1回 「スマホって何？」  
第2回 「スマホ時代のネットの在り方・使い方」  
サミット 「高校生が考えるスマートフォン時代の情報モラルと利活用」
- リアル熟議開催日程  
【東京開催】 於:東京ユビキタス協創広場 CANVAS  
第1回 2012年9月8日(土)13:30-17:00 第2回 2012年11月3日(土)13:30-17:00  
【大阪開催】 於:大阪ユビキタス協創広場 CANVAS  
第1回 2012年7月21日(土)13:30-17:00 第2回 2012年11月3日(土)13:30-17:00  
【高校生熟議サミット】 於:東京ユビキタス協創広場 CANVAS  
2012年12月15日(土) 13:30-17:00
- ネット熟議:テーマ「ガラケー派、スマホ派？」  
2012年9月9日(日)00:00～2012年10月14日(日)24:00  
文部科学省 政策創造エンジン 熟議カケアイ(<http://jukugi.mext.go.jp/>)
- 最終報告会  
2012年1月28日 内閣府 「青少年インターネット環境の整備等に関する検討会」にて
- 主催・共催  
大阪私学教育情報化研究会  
安心ネットづくり促進協議会  
一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構
- 後援  
内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、一般社団法人全国高等学校PTA連合会  
一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会  
東京都高等学校情報教育研究会、読売新聞社、全国読売防犯協力会

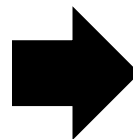
【2012年度の参加状況】  
参加生徒数 17校 79人  
《高校生熟議2012in 東京》  
6校 25人  
[東京都]  
自由学園高等科  
帝京高等学校  
東京学芸大学附属国際中等教育学校  
[神奈川県]  
鎌倉女学院高等学校  
[茨城県]  
茨城県立勝田工業高等学校  
水戸女子高等学校

《高校生熟議2012 in 大阪》  
11校 54人  
[大阪府]  
金光八尾高等学校  
大阪学院大学高等学校  
大阪市立東高等学校  
大阪成蹊女子高等学校  
大阪羽衣学園高等学校  
大阪府立天王寺高等学校  
大阪府立布施高等学校  
大阪府立岬高等学校  
[奈良県]  
関西中央高等学校  
奈良県立王寺工業高等学校  
奈良県立奈良朱雀高等学校

# 「高校生熟識」が目指すもの

## 啓発活動における課題

- セミナーやシンポジウム形式に対する理解度・興味の薄れ
- 保護者層の参加率の低さ
- 自己責任に対する意識の希薄



- ネットが分からず対応できない保護者
- 操作能力が高い分、安易にネットを利用する高校生
- 知識・経験が不足してトラブルに巻き込まれる小・中学生

大人からのおしつけでなく  
当事者の高校生が考える

負のスパイラルから  
正のスパイラルへ

## 高校生熟識が持つ3つの意味

- 当事者である高校生自身の気づき
- 年少の子どもに行動できる高校生の育成
- 次世代の保護者の育成



- リテラシーを持って子どものネット利用に目を配ることができる保護者
- リテラシーに加え情報モラルを獲得した高校生
- 身の回りにすぐに相談できる小・中学生



小・中学生

アドバイス

相談



高校生

知識の提供

モラルの提供



大人

高校生熟識は、これまで大人が形成してきた情報化社会とそのルールにあって、次世代の社会を支える高校生が、自ら考え、他者の意見を聴き、議論し、意見をまとめ、発表することにより、将来のインターネット社会に臨む環境整備の一助になることを目的とした活動です。